

開発にかける想い

2020年1月11日

早いもので令和2年となり、皆様のご支援賜りまして、弊社も本日で3年目に入りました。この場をお借りし、心よりお礼申し上げます。有難うございます。

昨年を振り返ってみますと、天災が多発し、改めて気候変動問題が深刻なことを思い知らされました。子供たちが未来に夢を馳せ、安心して暮らせる地球環境にするため、まずは身の回りの出来ることから心がけて行こうと肝に銘じた次第です。

また、幼い子供たちの辛く悲しいニュースをよく耳にしました。その加害者のほとんどが保護者のようでした。子供を授かった時は、幸せに満ち溢れていたに違いありません。何故、そのようなことになってしまったのか、本当に心が痛む思いです。

弊社の経営理念には「我々の原動力は、世界の子供たちと見守る人々に笑顔をもたらし、絆を深め、心豊かな社会を造ることに一役を担うことにあります。」と掲げました。多忙な日々を過ごしている内に、この信念を見失わないようチーム全員で共有し再確認した次第です。

とは申しましても、本当に微力な手前どもです。大それた目標を掲げても実現は困難です。従いまして、これも身の回りの出来ることから少しずつ実直に行動して行きたいと思えます。それは、弊社の製品開発にかける想いとして、具現化して参ります。

チームでは、いつも子供たちや親御さんの笑顔を思い浮かべながら、企画構想し、安全性を検討しながら設計しています。ロケで子供たちの遊ぶ姿や行動、発する言葉や声のトーン、親御さんの見守る表情、全てが開発に役立つ貴重な情報で有難い限りです。

また、自分の子供（私の場合は孫ですが）にも、この機械で遊んで欲しいか？という自問自答には、多くの気づきがございます。自分の身内にも遊んで欲しいと思えなければ、事業として販売先様に自信をもってお勧めできる道理がございません。

まだまだ微力で、志と行動にはギャップがあり反省の日々ですが、今後も社内で定期的に心をひとつにし、皆様に喜んで頂ける製品開発に努めて参ります。

本年も宜しくお願い申し上げます。

最高顧問 内藤 峰